

あれから40年

皆さんこんにちは。私は小野町から巣立って40年になります。高校を卒業と同時に夢と希望、不安を抱いて上京しました。今振り返ってみますと、あっという間の40年でした。その間に3人の子供を育て、皆成人しましたが、まだ誰ひとり結婚をしていません。そろそろ私も孫の顔を見たい年代になってきました。

私はひとつ誇りに思っていることがあります。それは田舎です。私にとって田舎は安らぎの場であります。今は両親も他界してしまい田舎に帰る回数も減ってしまいましたが一番安らぐのは田舎です。田舎の良いところは自然環境が良くて、星が綺麗で、食べ物が美味しいことです。また、方言があります。私は方言を一度も直そうとは思いませんでした。

田舎っぺとか言われたこともありますが気にもしませんでした。方言丸出しで仕事をしているときも「あなたは東北出身でしょう」とよく言われました。その時は胸を張って「はい、そうです。福島県中通りの小野町で自然環境がとても良いところですよ。」とよく自慢をしていました。標準語にはない方言独特のニュアンスで意思疎通が図られました。

これからも小野町出身を誇りに人生を歩んでいきたいと思えます。



西牧 秀雄 (にしき ひでお)
上羽出庭出身 (東京支部)

1年生を待ち受ける最初の難関、応援歌練習が4月15日始まりました。

初日は生徒指導部長から校歌の歌詞について説明がされるとともに、誇りを持って歌ってほしいとの話がありました。春の嵐となり、時折雷鳴も轟く中、1年生は雷雨の音にも負けないくらいの大きな声で校歌を斉唱し、小野高生としての決意を新たにしていました。



校歌の歌詞について説明を聴く1年生



110人の心を一つにした校歌が体育館に響きわたる



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>